



いせっ子 朝食メニュー コンクール



入賞作品を紹介します!

学校教育課 (TEL 22-7881 FAX 23-8641)

伊勢の食材を活用し、1日の元気の源である朝食を子どもたち自身が考えて調理する「いせっ子朝食メニューコンクール」を実施しました。
第4回目となる令和6年度の入賞作品を紹介します。



小学生の部



いせっ子大賞

朝から栄養まんてん朝ごはん

北村 莉聖さん(厚生小6年)

- 紀州梅と枝豆の塩こんぶおにぎり
- 豆腐の肉巻き
- 伊勢ひじき入りマカロニサラダ
- 三つ葉と卵のすいもの



いせっ子賞

栄養たっぷりラクラク朝ごはん

鈴木 葵空さん(小俣小6年)

- 赤じそとしゃけのさっぱり混ぜご飯
- はんぺんとしらすのたまご焼き
- ミネラルたっぷりのこのりの佃煮のせ
- あおさと夏野菜の味噌汁



いせっ子賞

カリカリふわふわめしあがれ!

山中 果帆子さん(小俣小6年)

- あおさのおにぎり
- のり卵焼き
- なすときゅうりのとろろがけ
- オクラのおみそ汁

中学生の部



いせっ子大賞

疲れをふっ飛ばす!免疫力UP朝ごはん

西川 怜奈さん(小俣中1年)

- 栄養たっぷり!アボたま納豆丼
- 自家製野菜たっぷりのコロコロサラダ
- モロヘイヤとオクラのとろろスープ
- シャキシャキ梨のヨーグルト



いせっ子賞

酷暑を乗りきれ!!冷製牛しぐれ茶づけ定食!

日置 唯愛さん(厚生中1年)

- 牛しぐれの冷やしほうじ茶茶づけ
- あおさの卵焼き
- トマトマリネ
- 梨のコンポート ブルーベリーソースがけ



いせっ子賞

エネルギーチャージ朝ごはん

藤原 伶壮さん(城田中2年)

- ミニキンパ
- ワカメスープ
- ごまドレッシングサラダ

この取り組みは、児童生徒の皆さんが「自らの食事に興味を持つこと」「食の大切さに気付くこと」「伊勢市の地場産物とその生産者について理解を深めること」を目的としています。
市のホームページでも入賞作品を紹介しています。ぜひ、ご覧ください。



子育てのひろば

このコーナーでは、主に妊婦の皆さんから就学までの子どもがいる保護者の皆さんを中心に、役に立つ情報をまとめてお知らせします。



離乳食教室

健康課 (TEL 27-2435 FAX 21-0683)

- と き** 3月7日(金)、10:30～11:30
ところ 中央保健センター（健康福祉ステーション・5階）
対 象 市内在住の乳児（生後7～11カ月）の保護者
内 容 離乳食（後期～完了期）の話・試食
定 員 15人（先着順）
持ち物 筆記用具
申し込み 2月17日（月）・8:30～3月6日（木）・12:00に、右の二次元コードからオンライン申請、または電話で健康課へ



子育てママ支援

Let's バレトン with 赤ちゃん

いせトピア (TEL 21-0900 FAX 21-0909)

- と き** 3月10日(月)、10:30～11:20
ところ いせトピア・1階 リハーサル室
対 象 市内在住または通勤・通学している、1歳以下の子どもとその母親
※抱っこひもで赤ちゃんを抱きながら動きます。
※妊娠中の人は医師の許可が必要です。
内 容 赤ちゃんを抱っこしながらバレトン（フィットネス・バレエ・ヨガをつなぎ合わせたエクササイズ）を行います。産後のケア・ボディメイクに最適です
講 師 鈴木 恵美さん（健康運動指導士）
定 員 6組（申し込み多数の場合は抽選）
持ち物 抱っこ紐、ヨガマットまたはバスタオル、飲み物
申し込み 2月20日(木)までに、右の二次元コードからオンライン申請



ママ☆こころの相談室

健康課 (TEL 27-2435 FAX 21-0683)

- 妊娠中や産後は、ホルモンバランスの影響や育児などで、心が疲れてしまうことがあります。1人で抱え込まずに、臨床心理士に相談してみませんか。
- と き** 3月6日(木)、①9:30～10:15 ②10:30～11:15
ところ 中央保健センター（健康福祉ステーション・5階）
対 象 妊婦および乳幼児の母親（精神科・心療内科の受診中またはカウンセリングを受けている人を除く）
申し込み 電話またはファクスで健康課へ

電動アシスト付き親子3人乗り自転車レンタル希望者を募集

子育て応援課 (TEL 21-5561 FAX 21-5555)

- 保育所や幼稚園などへの送り迎えや外出のサポートとして、経済的負担を軽減し、子育て中の皆さんを応援します。
- 貸出期間** ・4月上旬（予定）～9月末…3台
台数 ・4月上旬（予定）～令和8年3月末…22台
※申し込み多数の場合は抽選となります。
- 貸出料金** 月額1,000円
※別途、自転車返却時の点検にかかる修理費などの費用が必要です。
※利用月数に応じた料金の前払いとなります。
- 対 象** 市内在住で、4月1日時点で1歳以上の就学前の子どもを2人以上養育しており、自転車を適正な場所で管理できる人
- 申し込み** 3月9日(日)までに右の二次元コードからオンライン申請
- ※乗車時は保護者・子どもともにヘルメットを着用してください。
※貸し出し中、事故などで発生した損害にかかる賠償は利用者の責任となります。
※やむを得ず貸出期間の短縮を希望する場合は、子育て応援課または実施店舗へ連絡してください。



申請は3月31日(月)まで

児童手当法改正後の手続きはお済みですか？

令和6年10月の制度改正で、児童手当の受給対象が拡充されました。次に該当する人は、新たに申請が必要です。手続きが済んでいない人は、早めに申請をしてください。

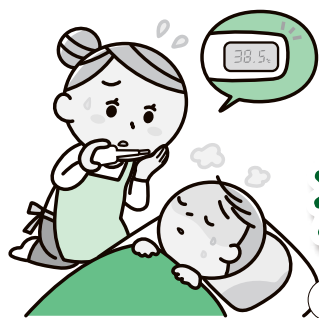
申請が必要な人

- ・中学校卒業後、18歳の誕生日以後最初の3月31日まで（高校生年代）の児童のみを養育している人
- ・所得制限により、児童手当などの支給がなくなった人
- ・現在、児童手当を受給中で、多子加算の算定児童として登録されていない高校生年代の児童を養育している人
- ・1人以上の児童の兄弟など（平成14年4月2日～18年4月1日生）と手当対象児童（平成18年4月2日生～）を含めて3人以上養育している人

申請期限 3月31日(月)

- ※提出期限を過ぎた場合は、令和6年10月分からさかのぼって手当を受けることができなくなり、申請した月の翌月からの手当となりますので、注意してください。
- ※公務員は各職場からの支給となるため、勤務先に手続きをしてください。
- ※その他、詳しくは市のホームページをご覧ください。





子どもが急に病気に！
でも仕事が…

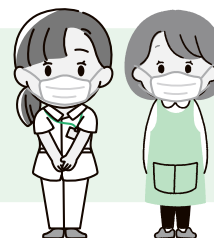
そんなときは

病児保育えんぜるのご利用を

子育て応援課(TEL 21-5561 FAX 21-5555)・かんだ小児科(TEL 22-4545 FAX 22-0867)

病児保育えんぜるは、病気で通園・通学ができない子どもを、一時的に看護・保育する施設です。保護者が仕事などで看護できない場合に利用できます。

※同事業は市から、かんだ小児科へ委託して行っています。



病児保育えんぜる

- ◆所在地 宮後3丁目2-10(かんだ小児科 内)
- ◆電話番号 病児保育えんぜる(TEL 63-8210 FAX 22-0867)
かんだ小児科(TEL 22-4545 FAX 22-0867)
- ◆利用日時 月～金曜日、8:30～17:30
※木曜日の利用は、前日に利用した人または、前日に事前診察を受けた人に限ります。
- ◆休所日 祝日、お盆、年末年始、その他(かんだ小児科のホームページを確認してください)
- ◆対象 伊勢市・玉城町・度会町・大紀町・南伊勢町・明和町に住所を有する小学6年生以下の子ども
- ◆定員 1日につき4人(予約可)
- ◆利用できる病気 風邪、腹痛、水ぼうそう、はしか、風しん、おたふくかぜ、インフルエンザ(後期)、ぜんそく、肺炎、骨折、やけど など
※診察の結果、預かることができない場合があります。

◆利用料金

- ・所得税課税世帯……1日につき1,500円
- ・所得税非課税世帯…1日につき1,000円
- ・生活保護世帯・市民税非課税世帯…無料

※利用日の翌月に利用料金の納付書を送付しますので、金融機関・かんだ小児科などで支払ってください。

※診察代、食事・おやつ代(660円)、おやつ代のみ(165円)などが別途必要です。これらは利用時に支払ってください。

◆ホームページ

かんだ小児科(URL <https://www.kandashonika.com>)



** 利用方法 **

① 事前登録(初回のみ)

右の二次元コードからオンライン申請、または直接子育て応援課もしくはかんだ小児科で、事前に登録をしてください。



② 子どもが病気になったら

かんだ小児科へ連絡のうえ、診察を受けてから、子どもを預けてください。

持ち物…健康保険証、母子健康手帳、各種受給資格証、服用している薬(座薬を含む。他の医療機関にかかっている場合は処方内容が分かるものも必要)

<必要な人は>哺乳瓶、ミルク、着替え(楽な服装)、おむつ、タオル、食事用エプロン、ビニール袋2・3枚



めざそや！共同参画 52

市民交流課 (TEL) 21-5513 (FAX) 21-5522

伊勢市では、一人一人が生き生きと輝ける社会をめざし、男女共同参画を進めています。パートナーの日啓発事業として、ジャーナリスト・浜田敬子さんをお招きし、講演会を開催しました。テーマは、「一歩踏み出せば、女性も地域も変わる」でした。

ジャーナリスト
浜田 敬子さん

朝日新聞社で「AERA」編集長を務め、現在はフリージャーナリストとしてテレビや講演でも活躍中

女性にはより多くのチャンス！ 男性には重圧からの解放を！

アイスランドの取り組み

アイスランドは、男女共同参画先進国ですが、長い年月をかけ、取り組んでいます。

1975年、仕事を持つ人、家庭にいる人を問わず、国民の女性の9割以上が参加し、デモを行いました。もともと女性の賃金は男性の6割ほどでしたが、現在は同一労働なら対等です。

2000年から男性の育児休業が義務化され、夫婦が交互に6カ月ずつ取得しています。男性が主になって家事・育児をすることで初めてその大変さに気づき、当事者意識が生まれたそうです。家事を夫婦で分担することで、働き方に男女の差がなくなり、雇用面でも男女が平等になりました。

当事者意識の必要性

当事者にならないと分からないことが多く、これまでの大震災での男性目線の避難所運営がその一例です。家事・育児・介護などに対する当事者意識の低い男性の中で、女性の声が反映されにくく、我慢を強いられました。女性が意思決定の場に入ることが不可欠であり、また、

さまざまな立場の当事者の意見を共有することも重要です。

家族でよく話し合って

従来からの専業主婦家庭を前提とした働き方にこだわると、共働き家庭の女性でも依然として家事・育児の負担が大きく、この負担のかたよりが女性の社会進出を阻んでいます。

一方、男性も一家の大黒柱として働くプレッシャーにさらされています。

家族で自分たちの望む暮らしについて考え、よく話し合って働き方を決めると良いですね。

一歩踏み出せば

先進国のアイスランドでは、今も取り組みが続いています。日本の女性も男女の格差に対して声を上げることが重要です。

男性も、一人一人が職場で勇気を持って定時に帰る、育児を取るなど働き方を変えていくことで、職場が変わることにつながります。

まず家庭を変え、職場が変わると、社会も変わっていくのではないのでしょうか。

看護師さんは、どっち？



男性



女性

実は男性の方が、看護師です。実際の病院でも男性看護師は、よく医師と間違われるそうです。

これは誰にでもあるアンコンシャスバイアス（無意識の思い込み）であり、過去の経験や価値観、知識などに影響を受けて生じるものなので、自分ではなかなか気付くことができません。

今回の「めざそや！共同参画」では、アンコンシャスバイアスについて考えてみたいと思います。

令和6年度

男女共同参画推進事業者を決定

市民交流課 (TEL 21-5513 FAX 21-5522)

市では、男女がともに働きやすい職場環境づくりに努めている市内事業者を募集し、表彰しています。今年度は、介護関係の事業を行っている株式会社ウェルフェア三重が「仕事と生活の調和实践賞」を受賞されました。

※表彰制度について詳しくは、市のホームページをご覧ください。

※この表彰制度のPRなどについて、皇學館大学と連携して実施しています。



仕事と生活の調和实践賞

株式会社ウェルフェア三重 代表取締役 松原 和之さん

皇學館大学と連携し、インタビューを行いました。

——働き方改革のひとつである「分業制の導入」について教えてください。

利用者の身体に触れる業務を「直接業務」、掃除やシーツ交換などを「間接業務」と位置づけています。これまではどちらも介護職員が行っていましたが、利用者からの声掛けへの対応などを優先すると、どうしても間接業務にまで手が回らない状況にありました。こうした課題に対して、それぞれの業務を十分に行えるよう、担当者を分けることにしました。比較的負担の少ない間接業務は、地域の高齢者や障がいのある人に担当してもらっています。

——働き方改革を実践して、現場の反応はどうか。また、課題はありますか。

業務内容を見直し、無駄を省くことで、利用者へのサービスを変えず給与もそのままに、勤務時間を30分短縮することができました。現場職員からは、やって良かったという声を多く聞いています。

何かを変えようとするときは、皆が納得できるよう話し合う時間をつくるなど、努力しています。働いている人の気持ちを大切にすることを企業として心がけています。



松原さん(左)への皇學館大学生(右)によるインタビューの様子

消防

1DAYインターンシップ

消防本部総務課 (TEL 25-1264 FAX 29-0134)

伊勢市消防本部の消防職員との面談会や訓練体験など、さまざまな内容を予定しています。参加をお待ちしています！

と き 3月16日(日)、10:00～15:00

と ころ 伊勢市消防本部(楠部町159-11)

対 象 15歳以上の人

内 容 消防業務説明、施設見学、消防職員との面談会 など
※詳しくは伊勢市消防本部のホームページをご覧ください。

定 員 20人程度(先着順)

申し込み 2月17日(月)～3月9日(日)に、右の二次元コードからオンライン申請

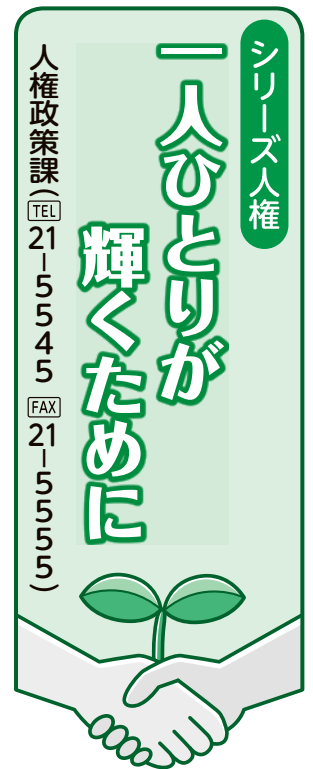


ホームページ



オンライン申請





「令和6年度伊勢市人権講演会」より

12月14日、いせトピアで「人権講演会」を開催し、37人が参加しました。

小中学生の代表が 人権作文を発表

伊勢市が令和5年度に編集した人権作文集「人権の芽」の中から、小中学生の代表による人権作文の発表を行いました。

豊浜東小学校の河邊和夏さん（6年）は、住んでいる地区の踊りが伝統で男の子しか踊れないことに対し、「女の子だから踊れないのはおかしい」と考えました。伝統は大切にしながらも女の子も踊れるようにするため、住んでいる地区のことをもっと勉強したいと語ってくれました。

人権尊重啓発ポスター！ 標語を表彰

人権尊重啓発ポスター・標語の表彰式では、市長賞を受賞したポスターの部の小学1年生から中学3年生までの9人と、標語の部1人が表彰されました。

KABAちゃんかばの講演

講演の部では、KABAちゃん（タレント・振付師）に「知ってほしい、LGBTQのこと」と題し、講演いただきました。自身がトランスジェンダーであることによって経験した出来事などを、フリーアナウンサーの津田なおみさんと交え、トークショー形式で話してもらいました。

KABAちゃんは物心ついた時から、自身の性別は女



津田なおみさん(左)とKABAちゃん(右)

性だと思っていました。男の子にいじめられたり、両親から「男らしくしなさい」と言われたりしても、なぜなのか分からなかったそうです。しかし、中学の体育で男女に分かれる際に女性側に行こうとして周りに止められ、自分は男性だったのかと改めて気付いてショックを受けました。当時は同じ境遇の人が周りにおらず、他の人には言えずにいました。

夢だった「女性アイドル」になるためダンスを始め、20歳でニューヨークを訪れたことで、転機を迎えます。アメリカでの生活の中で、トランスジェンダーへの理解が広まっている光景を見たこと、また「自信をもって堂々とすればいい」という友人の言葉により、自信を持つことができました。そして、テレビ番組で初めて自身がトランスジェンダーであることが明らかになりました。

その後、姉が乳がんを患ったことをきっかけに「後悔し

ない人生を送りたい」と考えるようになり、性別適合手術を受け、戸籍を女性に変更したそうです。

KABAちゃんは、講演の中で「カミングアウトする前と後で、した方への態度を変えてほしい」「トイレを使用する時にとても困ったので、多目的トイレをもつと普及してほしい」と強く訴えました。

また、「誰かのために生きることも素晴らしいが、一度きりの人生なので、私は私だと自信を持ち、自分を貫いてほしい」「LGBTQの活動が必要にならないくらいに、当事者や非当事者が寄り添い合うことが当たり前な社会になってほしい」と、かつての自分と同じように悩んでいる人へのメッセージと自身の願いを語りました。



みんな笑顔 伊勢の元気人

健康づくり通信

11日は
健康の日

申し込み・問い合わせ (8時30分～17時15分)
健康課(中央保健センター)

(宮後1丁目・健康福祉ステーション 5階)

(TEL) 2712435 (FAX) 210683

★ 参加費などの記載のないものは無料
★ がついている事業は、伊勢市健康マイレージ対象です

★
申し込みは2月17日(月)から
健康テラスで
毎月の健康チェックを
始めましょう

健康テラスでは、ベジチェックをはじめ握力計や体組成計、脳年齢計を自分で操作して健康チェックができます。毎月11日の健康の日はさらに健康機器をプラスします。

3月の健康の日は肌年齢測定と血管年齢測定をプラスします。自分の「健康度」の見える化」をして、健康づくりに役立てましょう。

とき 3月11日(火)、9時～12時30分

ところ 中央保健センター

定員 80人(30分ごとに各10人)
申し込み 2月17日(月)・8時

30分から、左の二次元コードよりオンライン申請、または電話・ファクスで健康課へ



★
「健康の日」における啓発事業
いつでも元気に自分らしく！女性の心身の健康に役立つ知恵を

女性は、ライフステージごとに特有の健康課題に直面します。女性の心身の健康について学び、日々の生活に役立てましょう。

とき 3月11日(火)、13時30分～15時30分

ところ 中央保健センター

対象 市内在住の女性
内容 村松温美さん(産婦人科医師)による講話

定員 40人程度(先着順)
申し込み 2月17日(月)・8時30分から、左の二次元コードよりオンライン申請、または電話・ファクスで健康課へ



HPV(子宮頸がん予防)ワクチンのキャッチアップ接種を延長

HPV(子宮頸がん予防)ワクチンのキャッチアップ接種(*)が、条件付きで1年延長されます。

対象者 平成9年4月2日～平成21年4月1日生まれの女性で、令和4年4月1日～令和7年3月31日にHPVワクチンを1回以上接種した人

期間 令和8年3月31日まで

※詳しくは市のホームページをご覧ください。



(*)キャッチアップ接種とは、積極的勧奨の差し控えにより接種機会を逃した人へ、接種の機会を提供するものです。

事業所の皆さんへ「受動喫煙防止対策ステッカー」の活用を!

市では「第2期伊勢市健康づくり指針」および「伊勢市公共施設における受動喫煙防止対策ガイドライン～令和元年度改訂版～」をもとに、受動喫煙防止対策に取り組んでいます。望まない受動喫煙を防止するため、飲食店や事業所などに表示するステッカーを作成し、配布しています。気軽に申し込んでください。

対象 市内の事業所
申し込み 3月14日(金)までに、右の二次元コードからオンライン申請、または電話・ファクスで健康課へ
※申し込み時に、事業所などの受動喫煙防止対策などの状況を確認しますので、ご協力をお願いします。
※数に限りがあります。



①敷地内禁煙(赤)



②建物内禁煙(喫煙場所あり)(赤)



③建物内禁煙(喫煙場所なし)(赤)



④完全分煙(緑)



⑤喫煙場所(青)



(A4 サイズ: シール版・ラミネート版)

ステッカーは市のホームページからダウンロードすることもできます。また、必要事項が分かりやすく記載されていれば、独自に作成したものを掲示していただいても構いません。





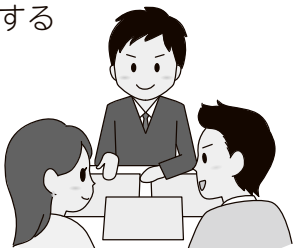
アパート退去時のトラブルに注意!

引っ越しが多くなるこの時期、「アパートを退去したら、クロスの張り替えやフローリング修理など高額な修理代金を請求された」というような相談が寄せられます。入居のときから「契約書類」を確認するなど、退去時にトラブルにならないように備えましょう。

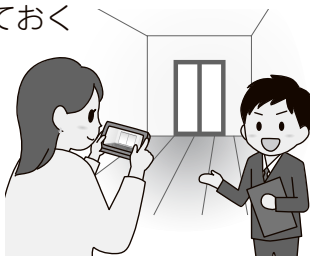
トラブルに遭わないために、次のことを確認しましょう。

入居時

- 契約書類（特に禁止・修繕・退去事項など）を確認する



- 貸主立ち会いのもと、部屋を確認し、写真やメモで状態を記録しておく



入居中

- 設備機器などの修繕が必要な場合は、速やかに貸主へ連絡する



退去時

- 部屋の掃除後に入居者が点検し、貸主立ち会いのもと修繕箇所を確認する
- 修繕費の明細を出してもらい、納得がいけない場合は、「原状回復をめぐるトラブルとガイドライン(*)」を参考に貸主と話し合う

(*) 国土交通省による、民間賃貸住宅の退去時トラブル解決への指針



原状回復ガイドラインの例

カギ

- ① 取り替え⇒貸主
- ② 紛失、破損⇒入居者

台所の油污れ
通常の使用による損耗を超える(使用後の手入れが悪く、ススや油が付着している)⇒入居者

風呂、トイレ、洗面台
清掃、手入れを怠った結果、水垢、カビなどの付着が生じた⇒入居者

壁

- ① 通常の使用による損耗(画びょう・エアコンの設置によるビス穴、日照によるクロスの変色)⇒貸主
- ② 通常の使用による損耗を超える(結露を放置してシミ発生、タバコのヤニによる変色や臭い付着など)⇒入居者

困ったときは消費生活センターに気軽に相談してください。

決算書作成、各種申告書作成、補助金の請求など

インボイスの申告相談も

行っています。

悩まないで
伊勢青色申告会に
ご相談を



伊勢青色申告会事務局 伊勢市岩渕 1-7-17 伊勢商工会議所 2 階 TEL 0596 (26) 0016



～ふれあい・生きがい・助けあい～

一緒に活動してみませんか？

老人クラブを紹介

高齢・障がい福祉課 (TEL 21-5559 FAX 20-8555)



老人クラブは、おおむね60歳以上の人々が、生きがいや健康づくり・ボランティア活動など、経験や知識を生かして地域や社会に貢献する活動に取り組んでいる組織です。

現在、市内には73のクラブがあり、5,334人の会員の皆さんが、仲間と共に楽しみながらさまざまな活動を行っています。

主な
活動を紹介
します！

●生き生き元気に健康づくり活動

グラウンドゴルフ・3B体操・ウォーキングなどのスポーツ

●知識や経験を生かす友愛活動

子どもたちとの世代間交流・施設訪問 など

●地域や社会のための奉仕活動

登下校中の児童の見守り・清掃活動・植栽活動 など



この他にも
趣味・文化・芸能・
各種講座など、
さまざまな活動が
あります。

＼こんな活動が行われています！／



歩こう会



視察研修会



会食会



しめ飾り作り



和紙ちぎり絵教室



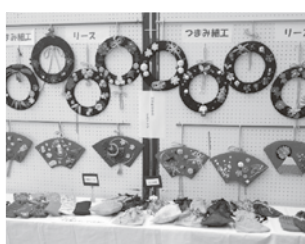
地域清掃活動



芸能大会



女性部料理教室



趣味の作品展



グラウンドゴルフ大会



カローリング大会

会員募集中

各地域の老人クラブでは、仲間と共に楽しみながら充実した活動を行っています。活動内容などに興味のある人は、お近くの老人クラブまたは、伊勢市老人クラブ連合会(☎25-8122)へ問い合わせてください。



いせぼれんだより

No.95

伊勢市ボランティア連絡協議会〔八日市場町・福祉センター内〕(TEL 27-2425 FAX 27-2412)

伊勢市ボランティア連絡協議会



技術系災害ボランティア 養成研修に参加

令和6年11月30日に旧大湊小学校体育館で開催された、伊勢市災害ボランティアセンター主催の「技術系災害ボランティア養成研修」に参加しました。「災害時における屋根の応急処置のブルーシートの貼り方」について、講師の塩竹正徳さん（災害ボランティア愛・知・人）に教わりました。加えて、はしごを安全に正しく登る方法や、ロープを使って資材を屋根に上げる方法、作業者の安全を確保したシートの貼り方、土のう袋によるシートの押さえ方などの指導を受けました。今回の講習を参考に、当協議会として取り組んでいきます。

また、このような研修を重ねることで、さらに充実した防災対策に取り組めます。



屋根の応急処置を学ぶ

ボランティアまつりを終えて

福祉センターのリニューアル工事のため、今回は令和6年11月4日に開催となりました。同センターが市から社会福祉協議会へ移譲され、これまでとは異なる運営方針に戸惑いながらもなんとか準備しました。

また、当日のふれあいレストランで、いつものように食べる場所がなかったことは、今後解決していく必要があると思います。

来場者の皆さまからは、今までどおり夏の開催が良いとの意見がありました。



オープニングでの柳太鼓の皆さん



バザー

ごあいさつ

梅一輪 一輪ほどの暖かさ・・・日々近い春を感じる季節となりました。

皆さまには当協議会の活動にご理解・ご協力をいただき、ありがとうございます。また、ボランティアまつりの開催におきましては、たくさんの皆さまからご支援・ご協力をいただきました事、重ねて御礼を申し上げます。

年末年始には会員が伊勢市駅前で観光案内を行い、本年も「ようこそ伊勢さんへ」の声掛けからボランティア活動をスタートしました。

当会では市民の皆さまからの要望に対し、多くの団体のメンバーがさまざまな活動を通してボランティアの推進に励んでおります。特に環境・福祉・防災の分野などでは、若いメンバーが活躍し、次世代に繋がるものとして喜ばしく感じています。

メンバー自身の健康を第一としながら、今後ともボランティア活動の推進に努めてまいります。

本年も皆さまのご支援をお願いいたします。

伊勢市ボランティア連絡協議会 会長 泰道 詞子

新年の集いを開催

1月13日、伊勢市ボランティア連絡協議会「新年の集い」を、福祉センターで開催しました。

会長あいさつの後、鈴木健一市長に力強いあいさつをいただきました。

活動報告の後、伊勢音頭「藤蘭会」の皆さんによってにぎやかに場を盛り上げていただき、その後ボランティアグループ「歌の花束」の会員が歌を披露しました。会場全体での合唱もあり、明るい新年の門出となりました。



新年の集いの様子

伊勢まつりに参加！

伊勢まつりでは、多くの団体により、パレードや太鼓演奏などのほか、お木曳車やみこしの披露などが行われました。幼稚園児や小学生によるマーチング・鼓笛隊が、秋空の下で沿道からの声援を受けて堂々と行進する姿は勇ましく、会場は盛り上がっていました。

当会では、多くの皆さまにご協力をいただき、いつもの場所「福祉エリア」でバザー用品などを紹介しながら販売しました。



年末感謝セールを盛大に実施

令和6年12月14日、福祉センターで、年末感謝セールを実施しました。

日頃、ご支援・ご協力いただいている皆さまに感謝して、みかん・干物・お正月用品・パン・花の寄せ植え・シクラメン・野菜・手作り品・コーヒーなどを販売しました。

多くの皆さまに来ていただき、早々に完売する品物も出るなど、大盛況でした。お越しいただいた皆さま、本当にありがとうございました。



当日の様子

大湊町高齢者通所センター「いこい」

いこいの一日

10時になると利用者の皆さまが来所。

それぞれ「おはよ～」と元気な声が。

にぎやかなティータイム。

今日のおやつはおせんべい。

続いて、脳体操の始まりです。

「アリサン アツマレ アエイウエオワ・・・・・・」

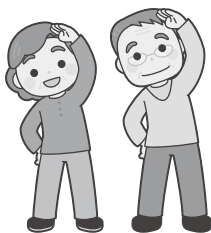
あっという間に昼食です。手作りの昼食に皆さま 満足♥ 満足♥

休憩の後

歌をうたったり、物作りなどを。

あっという間にオヤツタイム（キナ粉プリンとフルーツなど）

さよならの会・・・・・・です。



「いこい」の様子



食事を準備するスタッフ

建築大工の伝統的スキルを学べる訓練校 職業訓練生募集!!

大工の卵を
育てます！



毎週水曜日 8:45～17:15 4月～3年制

伊勢建設高等職業能力開発校

(三重県建設労働組合伊勢支部内)

〒516-0071 伊勢市一之木4-644-3

☎0596-23-5535

※生徒数によっては開校できない場合があります

有
料
広
告

「伊勢市ホームページ」・「広報いせ」に 広告を掲載しませんか？

自治体広報ならではの

メリット→

地域密着型の
情報発信

地域での
知名度向上

自治体発信の
高い信頼度

興味のある方はお気軽に

伊勢市役所広報広聴課(☎0596-21-5515)

までご相談ください！

※政治活動または宗教活動に係るものと認められるもの、公序良俗に反するものなど、掲載をお断りする内容のものとございます。
詳しくは右の二次元コードから広告募集要項をご確認ください。

広告事業 伊勢市 検索Q



みんなの広場

このコーナーは、市民団体などの皆さんが、イベント案内や会員募集などに利用できるコーナーです。
参加費などの記載のないものは無料です。

労働・年金市民相談会

三重県社会保険労務士会南勢支部
(TEL 63-9220 FAX 63-9221)

時 2月18日(火)、13:30～16:30 所 市役所東館・5階
5-4 会議室 対 市内在住の人 内 社会保険労務士が、労働(経営者・労働者)・年金(老齢・遺族・障害)、健康・雇用・労災保険の相談に応じます 申 不要

鈴鹿高専 春季ものづくり体験教室

鈴鹿工業高等専門学校
(TEL 059-368-1717 FAX 059-387-0338)

ものづくりが好きな人、プログラミングに興味のある人など、ぜひ参加してください。

時 3月15日(土)・16日(日)・26日(火)・29日(金)・30日(土)・31日(日) ※時間は日によって異なります。 所 鈴鹿工業高等専門学校(鈴鹿市白子町) 対 中学1・2年生(一部、小学6年生も可) 定 教室ごとに異なる(申し込み多数の場合は抽選) 料 50円(傷害保険料) 申 2月7日(金)～25日(火)に、同校のホームページから ※詳しくは同校のホームページ(URL <https://www.suzuka-ct.ac.jp>)をご覧ください。

イベント掲示板

このコーナーは、国・県・市または教育委員会が共催・後援などをするイベント情報を案内するコーナーです。
参加費などの記載のないものは無料です。

2月 みそか寄席

おかげ横丁「おみやげや(総合案内)」(TEL 23-8838)

時 2月28日(金)、16:00～(第1部)・19:00～(第2部)
所 おかげ横丁「すし久」(宇治中之切町20) 内 [第1・2部とも] 桂文我などが出演する落語会。歴史の趣を感じる建物で非日常感を味わいながら、笑いのひとときをお楽しみください 料 前売り2,200円、当日2,500円
前売り券の販売 おかげ横丁「おみやげや(総合案内)」または、おかげ横丁のホームページの予約サイト、チケットぴあにて販売

五十鈴中学校合唱部・五十鈴中学校合唱部OBソルシエール 合同演奏会

五十鈴中学校合唱部 OB ソルシエール・河俣さん
(TEL 090-9662-7807)

時 3月16日(日)、14:30～ 所 伊勢商工会議所・5階 大ホール(岩渕1丁目7-17) 内 日本語の曲やポップス曲、さまざまな外国語の曲を歌います。今夏エストニア共和国を訪問して現地の合唱団とコンサートを行う予定で、それに向けて練習している曲も披露します 定 200人(先着順) 料 1,000円(中学生以下は無料) 申 2月17日(月)～3月15日(土)に、右の二次元コードから申し込み、またはEメール(✉ contact@choirsorciere.com)で河俣さんへ



三重県人形劇フェスティバル in 伊勢

人形劇団おたまじゃくし・西村さん
(TEL 090-1094-2473)

時 3月8日(土)、①10:45～・②14:00～(①②は内容が違います) 所 尾崎弔堂記念館 内 人形劇・パネルシアター・紙芝居・腹話術・うたあそびなど 定 60人(先着順)
料 参加協力券: 前売り①②各500円、当日各700円、①②通し券800円 申 2月20日(木)～3月7日(金)に、電話で西村さんへ

時 とき 所 ところ 対 対象 内 内容 定 定員
料 料金 申 申し込み

イベント掲示板&みんなの広場
掲載申し込み締め切り

4月15日号 → 2月28日(金)
5月1日号(5月合併号) → 3月14日(金)

※「広報いせ」は月2回発行していますが、5月は合併号とし、情報を1回にまとめてお知らせします。

【違う】



手話を覚えてみよう!
94

高齢・障がい福祉課
(TEL 21-55558 FAX 20-85555)



2指を開いた右手を半回転させます。両手で交互にひねるような表現をすることもあります。
※手話表現の一例を紹介しています。



←市のホームページで
手話動画を見ることができます。

みんなで手話 伊勢市 検索

情報コーナー

参加費などの記載のないものは無料

催し物



お知らせ



募集



講座



募集

令和7年国勢調査

調査員を募集

企画調整課

(TEL) 21-55507 (FAX) 21-55522

令和7年10月1日を基準として、国勢調査が実施されます。

国勢調査は5年ごとに、日本に住む全ての人と世帯が対象となる最も重要な統計調査です。同調査の調査員として従事していただける人を募集します。

調査の開始前に説明会を開催しますので、未経験者も安心して応募してください。

仕事内容 調査員説明会への出席、担当調査区の範囲や調査対象の確認、調査書類の配布と回答依頼、調査票の回収（郵送・インターネット回答世帯を除く）、回収した調査票の検査・整理、市へ調査書類などを提出

あなたの力を子どもの安全に！

学校安全

ボランティアを募集

学校教育課

(TEL) 22-7881 (FAX) 23-8641

地域の皆さんによる「学校安全ボランティア」を募集しています。子どもの安全確保は、安全安心な社会の要です。令和6年度は528人が登録し、登下校の見守りなどに協力していただいています。

活動場所 市内公立小学校・幼稚園の通学路

内容 児童生徒の登下校の見守り

※採用は随時行っています。

※協力していただける学校・園へ直接問い合わせてください。

令和7年度

市営吹上駐車場の

利用者を募集

資産経営課

(TEL) 21-5526 (FAX) 21-5700

4月から、利用料金の減額と利用対象者を拡大します。

利用期間 4月1日(火)～令和8年3月31日(火)

対象 どなたでも（個人・法人問わず）

利用車両 軽自動車、小型自動車、普通自動車（マイクロバス、トラックなどは不可）

募集台数 36台程度（申し込み多数の場合は抽選）

利用料金 月額7000円

申し込み 3月14日(金)までに、利用許可申請書（市のホームページに掲載）に必要事項を記入し、直接またはEメール（sisan@city.ise.nie）・ファクスで同課へ

※詳しくは、市のホームページをご覧ください。

ホームぺージを
ご覧ください。



吹上駐車場位置図



■伊勢市駅北口（近鉄側）まで
徒歩約6分

■伊勢市駅南口（JR側）まで
徒歩約9分

■宇治山田駅まで徒歩約7分

講座

市民公開講座

伊勢総合病院

(TEL) 23-5111 (FAX) 27-2315

地域の皆さんに信頼される親しみやすい病院づくりの一環として、市民公開講座を開催します。

今回は、同病院の皮膚科・整形外科の医師が、それぞれの専門分野の病気や治療について分かりやすくお話しします。

とき 3月1日(土)、9時15分～11時35分

ところ いせトピア

内容

9時15分～9時45分 看護師による体脂肪率、血圧測定（先着20人）

10時～10時45分 講演「アトピー性皮膚炎の最近の話題」
中正直（皮膚科部長）

10時50分～11時35分 講演「日常生活を快適に～変形性膝関節症と向き合う～」
吉田格之進（整形外科副部長）

点訳奉仕者初級養成講習会・音訳奉仕者養成講習会

高齡・障がい福祉課
(TEL) 21-55558 (FAX) 20-85555

視覚に障がいのある人の読書環境などの向上のため、点訳・音訳技術を習得する養成講習会を行います。受講後は三重県視覚障害者支援センターや市などから依頼する活動(図書などの点訳や音訳、点字図書や録音図書の製作など)への協力をお願いしています。

点訳(全3日間) 視覚障がいについて、点訳の基礎知識および実技

音訳(全4日間) 音訳ボランティアの役割、正しく伝えるための音訳表現技術、パソコンを使った録音実習など

共通
ところ 三重県視覚障害者支援センター(津市桜橋2丁目131 三重県社会福祉会館内)

申し込み 点訳は3月28日(金)(必着)までに、音訳は3月31日(月)(必着)までに、同センターへ

※開催日程や申込方法など、詳しくは同センターのホームページ

ホームページ(URL) <https://www.nieten.jp> をご覧下さい。



伊勢市共生社会講演会

高齡・障がい福祉課
(TEL) 21-55558 (FAX) 20-85555

年齢や障がいの有無にかかわらず自分らしく暮らせる地域共生社会の実現に向けて、私たちはどうあるべきかを考えます。ジャーナリスト、また重度知的障がいの者の父親として、若者・家族・社会の変化をさまざまな角度から見つめてきた講師による講演会です。

とき 3月15日(土)、14時〜15時30分(開場は13時30分)

ところ ハートプラザみその・多目的ホール

講師 野澤和弘さん(障害者のリアル×東大生のリアル)「弱さを愛せる社会へ 分断の時代を超える『令和の幸福論』などの著者」

定員 300人(先着順)

申し込み 3月14日(金)までに、下の二次元コードからオンライン



ン申請または直接・電話・ファクスで同課へ

伊勢市役所職員業務説明会

職員課
(TEL) 21-55505 (FAX) 21-55522

伊勢市職員として働くことに興味のある人向けに、業務説明会を実施します。市の仕事内容、勤務条件などの紹介をはじめ、職種ごとに皆さんが疑問に思うこと、気になることに職員が答えします。

とき・ところ 3月5日(水)

対面方式 15時〜16時(市役所東館・5階5-3会議室)

Web方式 17時30分〜18時30分(ZOOM使用)

対象者 伊勢市職員採用試験の受験に興味のある人(保護者・社会人を含む)

対象職種 事務職・土木技術職・保育士・保健師

定員 対面:40人程度、Web:60人程度(いずれも先着順)

申し込み 2月17日(月)〜27日(木)に、下の二次元コードからオンライン申請



※説明会への参加状況が、採用試験の結果に影響することはありません。

空家に関する無料電話相談会

住宅政策課
(TEL) 21-55597
(FAX) 050-1704-1924

市内の空家に関する困りごとについての電話相談会を開催します。

とき 2月24日(木)、9時〜13時

内容 空家を持っているが処分したい、隣の空家のことで困っているなど、市内の空家に関する困りごとについて、電話で相談できます。内容に応じて、直接アドバイス、または各種専門家に無料で相談できるよう取り次ぎをします。

※事前申し込み不要です。

家族交流会「とまりぎ」(ひきこもり)

ひきこもり地域支援センターつむぎ
(TEL) 63-5670 (FAX) 27-2412

同じような境遇の人たちと交流し、思いを共有することで息抜きができる場です。

とき 3月10日(月)、13時30分〜15時

ところ 福祉センター・2階(八日市場町13-1)

対象 ひきこもり当事者の家族
定員 15人(先着順)

申し込み 3月3日(月)までに、同センターへ

聖地伊勢を歩く〜御師と獅子頭〜 その歴史を訪ねる〜

シンフォニアテクノロジ
響ホール伊勢
(TEL) 28-5105 (FAX) 28-5106

地元の有識者と市の学芸員による、御師文化の紹介・解説を受けて、街中に遺る御師文化の名残をめぐるウォーキングツアーです。

今回は御師が関係する伊勢の街の風習・民俗行事のうち、「御頭神事(獅子舞)」を伝える神社や御師ゆかりの地を巡ります。

とき 3月9日(日)、①10時〜11時30分・②13時30分〜15時

(①②は同内容)

集合場所 シンフォニアテクノロジ・響ホール伊勢・展示室

講師 久留満さん(明倫地区まちづくり協議会事務局長、御師の子孫)、山本翔麻(伊勢市文化政策課・学芸員)

定員 ①②各20人(先着順)

申し込み 2月11日(木)10時から、直接または電話で同館へ

市民ふれあいスポカル ウォーク(第5回)

スポーツ課

(TEL) 22-7895 (FAX) 23-8641

スポカルウォークとは、スポーツと文化(カルチャー)を合わせたウォーキングです。心地良い汗をかきながら、地域に残る歴史・文化施設などを巡ります。

とき 3月2日(日)、9時30分
～(受け付けは9時～)

集合場所 御園総合支所駐車場

内容 「山田奉行所と臥竜梅(御園町コース)」(約6km)のウォーキング

持ち物 飲み物・タオルなど
参加料 100円(当日持参)

※事前申し込みは不要です。
※天候不順の場合は、当日7時に開催可否を決定し、中止の場合のみ市のホームページでお知らせします。

※小学生以下の子どもは、大人と参加してください。

※詳しくは、伊勢市レクリエーション協会・奥田さん(TEL) 090-7696-2862へ問い合わせください。

※できる限り車の乗り合わせ、または公共交通機関を利用してください。

ワンコイン響ライブ Vol.24 春の響き

サウンドス オブ スプリング
～ Sounds of Spring ～

シンフォニアテクノロジ
響ホール伊勢

(TEL) 28-5105 (FAX) 28-5106

今年度最後のワンコイン響ライブはジャズライブ! 往年の名曲からポピュラーまで、ジャズのビートで春の訪れをお届けします。

とき 3月23日(日)、13時30分
～(開場は13時)

ところ シンフォニアテクノロジ・響ホール伊勢・大ホール

出演 小堀清登さん(ピアノ)、道野悠さん(フルート)

料金 500円(全席自由)
申し込み 2月23日(祝)10時から、直接または電話で同館へ

※詳しくは同館のホームページをご覧ください。

※詳しくは同館のホームページをご覧ください。



小堀清登さん

道野 悠さん

お知らせ

二見体育館が移転します

スポーツ課

(TEL) 22-7891 (FAX) 23-8641

4月1日に、二見体育館が旧二見中学校体育館に移転し、より多くの皆さんが利用できるようになります。現在の二見体育館とは料金体系が、左表のとおり変わります。

申し込み 使用する月の前月の1日から使用日の3日前までに、二見公民館(TEL) 42-1117へ電話で仮予約のうえ、直接またはファクス・Eメールで申請書を提出

※詳しくは市のホームページをご覧ください。

※詳しくは市のホームページをご覧ください。



使用料

区分	単位	アマチュアスポーツ及び文化関係事業の場合	その他の場合
半面	1時間	530円	2,360円
全面	1時間	1,060円	4,720円
ギャラリー	1時間	280円	1,280円

照明使用料

区分	単位	アマチュアスポーツ及び文化関係事業の場合	その他の場合
半面	1時間	470円	940円
全面	1時間	940円	1,880円
ギャラリー	1時間	250円	510円

※営利を目的とする場合の体育館および照明設備の使用料は、いずれも「その他の場合」の額の倍額となります。

一人暮らしの高齢者などの皆さんへ

救急医療情報キットを配布

救急対策として、救急医療情報キットを配布しています。

救急医療情報キットとは?

救急医療活動に必要な氏名・生年月日・血液型や病歴などの医療情報、緊急連絡先などをシートにあらかじめ記入し、専用の容器(キット)に入れ、自宅の冷蔵庫に保管しておくものです。万が一の時に駆け付けた救急隊員が、これらの情報を状況に応じて救急医療活動のために活用します。

対象 次のいずれかの人

- ① 65歳以上の一人暮らしまたは高齢者のみの世帯で、健康上不安がある人
- ② 各種障害者手帳の交付を受け、健康上不安がある人
- ③ 上記①・②の対象に準ずる人で配布を希望する人

高齢・障がい福祉課

(TEL) 21-5559 (FAX) 20-8555

※令和6年度中に75歳に達する一人暮らしの高齢者(昭和24年4月1日～昭和25年3月31日生まれの人)へは案内を郵送しています。

申請 同課または3総合支所生活福祉課・9支所へ

同キットを配備済みの人へ

シートの情報が古いと、必要な時に情報が活用できないため、定期的に情報を見直しましょう。

※新たなシートやシールが必要な場合は、同課または3総合支所生活福祉課・9支所へ申し出てください。シートは市のホームページからもダウンロードできます。



救急医療情報キット

本紙以外からも伊勢市の情報を配信中！

登録はコチラから！



Facebook



X (Twitter)



LINE



YouTube



令和6年度

伊勢市二十歳のつどい

社会教育課 (TEL 22-7886 FAX 23-8641)

1月12日、成人の日にちなみ、シンフォニアテクノロジー響ホール伊勢で「伊勢市二十歳のつどい」を開催しました。今年は市内で1,080人が晴れの日を迎え、そのうち926人が参加しました。

今回は、「翔^{しょう}～未来への飛躍～」をテーマに式典を実施しました。実行委員の発想で、改めて伊勢のことを知るきっかけとして、式典の冒頭で伊勢に関するクイズ大会とサプライズ抽選会が行われました。



二十歳のつどい実行委員会が選考！

市制20周年記念

企画調整課 (TEL 21-5510 FAX 21-5522)

ロゴマークデザインが決定しました

令和7年度に迎える市制20周年を広くお知らせするとともに、市内の気運醸成を図るため、ロゴマークを作成しました。

市内高校に通う生徒がデザインしたもので、20周年関連事業で使用していきます。



作成 伊勢工業高校3年
中北穂乃加さん

伊勢市健康医療ダイヤル24

フリーダイヤル



0120-220-417

通話料無料

ウェブ Webでも相談できます。方法など詳しくは、市のホームページを確認してください。

心や体の健康などについて、医師・看護師・保健師などが年中無休・24時間体制で電話相談に応じています。



問い合わせ先 健康課 TEL 27-2435

※本サービスは、民間業者に委託をして運営しています。

広報いせ 第385号

発行日/令和7年2月15日

発行/伊勢市

編集/情報戦略局 広報広聴課

印刷/株式会社アイブレーン

伊勢市情報戦略局 広報広聴課

〒516-8601 伊勢市岩渕1丁目7番29号
TEL 0596-21-5515 FAX 0596-22-9699

✉ ise-koho@city.ise.mie.jp ※一部ページがないなどの落丁があった場合、広報広聴課へご連絡ください。

URL <https://www.city.ise.mie.jp> 伊勢市役所 検索

視覚障がいのある人で、「声の広報いせ」「点字広報いせ」を希望する人は、高齢・障がい福祉課 (TEL 21-5558 FAX 20-8555) へ連絡してください。また、「声の広報いせ」は、直近1カ月分を市のホームページに掲載しています。

「広報いせ」では、財源を確保するため、一部のページに企業広告を掲載していますが、これらは市が広告主や商品を推奨するものではありません。



Ise City

伊勢市



植物油インキで印刷しています。

※この広報紙は、再生紙を使用しています。

※この広報紙を廃棄する際は、雑誌・雑報として分別してください。



見やすいデザインの文字を使用しています。